

盛夏

夏の暑さが盛りの時期を表す言葉。また、その暑さの甚だしいこと。一年で最も過酷な暑さの八月。ただ、盛りを迎えると秋に向けて落ち着いてゆくことが少しの希望に。



炎天下の中、作業中はお互いに無理をしないよう声をかけ合い、体調を気遣いながら取り組んでいます。ねぎも農人も元気な状態を保てるよう、日々工夫してこの暑さと向き合っています。

今月のことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

移り変わる環境下の中で育った夏葱たち

丹後・美山・亀岡の地で育った夏葱たちをお届け。今年は梅雨明けが早く、6月後半から強い日差しと高温が続いたこともあり、5月に定植した苗は水分不足が心配される時期もありました。しかし、適切な灌水と管理により順調に育ちました。また、普段は雨が少ない分、スコールのような激しい雨や風に見舞われる日が増え、成長したねぎが倒れやすくなっているため、農人一同、気の抜けない日々が続いています。移り変わる環境下の中で立派に育った夏葱、ご賞味ください。



農人たちの畑での作業の様子、THE 農業！の現場の「こと」を発信



空調服のおかげで、なんと笑顔も保ちつつ収穫作業できます！



夏場の苗づくり。ハウス内の温度や湿度、環境整備が大事。

厳しい夏の農作業と台風対策期間の始まり

急に気温が上がった影響で、ねぎだけでなく、私たち農人の身体も気候にうまく適応できず、厳しい環境での作業が続いています。そんな中でも、無理のない作業ができるように、涼しい時間帯を選んで作業を行うため、7月上旬からは早朝5時頃から動き出しています。陽が上がりきっていないこの時間帯があるだけで、涼しい環境下の中でコンディションも調子よく保つことができ、快適に作業に取り組むことができます。とはいえ、陽が上がると一気に体力を消耗するほどで作業スピードも落ちてしまうので、こまめな水分補給や休憩と、普段から適度な食事や睡眠を心がけるなど、疲れをためこまないように工夫しています。

8月からは約3ヶ月間、台風対策期間が始まります。ねぎはもちろん、お客さま、スタッフの生活を守るため、台風発生と同時に全社一丸となって協力体制に入り、台風に備えていきます。

とある日の農人日記。

早朝から動き出し、9時頃に皆さんで休憩を取ろうとしたところ、「涼しい時間に少しでも仕事をしたい」と要望があり、皆さんの仕事への意気込を感じました。皆さんで一呼吸をして少し整えて、仕事を開始しました。（収穫班・編子）

古都・事・言 3つの「こと」を伝えます

ことわざだより

NO.219

2025年8月号

TEL: 075-601-0668

こと京都株式会社

KOTO GROUP

4A

夏葱



こと京都は「野菜を食べてよう」プロジェクトのサポーター企業です

私たちは、農林水産省が実施している本プロジェクトの趣旨に賛同し、九条ねぎを通じて野菜の消費拡大に取り組めます。